RALLIART

4G63/4G15型ターボエンジン搭載車用

# スポーツ1DINトリプルメーターキット

RA517925S1

# 取付・取扱説明書

株式会社ラリーアート商品をお買い上げ頂きありがとうございます。
この取付・取扱説明書をよくお読みになり、当商品の内容をご理解された上で取付・取扱いを正しく行い、ご使用下さいますようお願い致します。
また、今後のメンテナンスの為に、この取付・取扱説明書は、お客様のお手元に置かれ、大切に保管しておいてください。

## 注意事項とお願い

●この取付・取扱説明書には次のマークを使用しています。

**⚠警告 ⚠注意 警告、注意は特に重要な事項です。必ず読んでお守り下さい。**

⚠警告・・・ 安全の為に必ず守って頂きたいこと。
守らないと死亡や重大な障害につながる恐れがあります。

⚠注意・・・ 安全の為に必ず守って頂きたいこと。
守らないと障害や事故につながる恐れがあります。

アドバイス・・・ 取付の為に守って頂きたいこと。

●記載事項に従わない取り付けを行った場合は、当商品の機能等を阻害するばかりでなく、車両等の不具合につながる恐れもありますので、絶対に行わないで下さい。
●当商品は取付時・取付後に発生した、いかなる不具合につきましても、責任を負いかねますのでご了承下さい。

この取付・取扱説明書は必ずお客様に渡して下さい。(大切に保管して下さい。)

R023-0159-0702

株式会社ラリーアート

# お客様へ

## ■取扱い上の注意

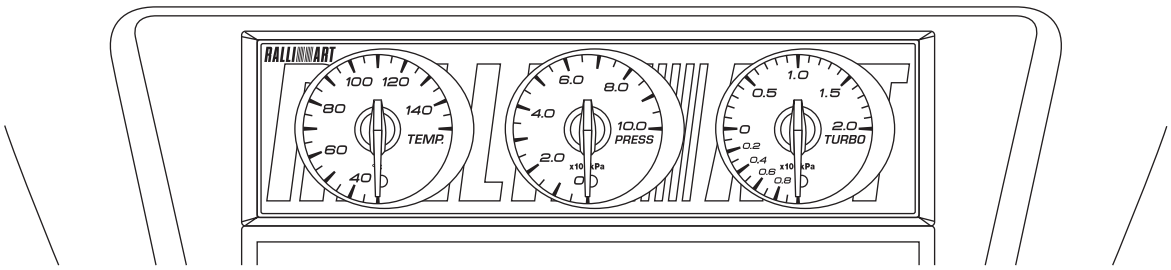
### ⚠注意

1. 当商品は適用車種以外には絶対に使用、取付をしないで下さい。破損や事故の原因となる事があります。
2. 当商品の加工、分解は絶対に行わないで下さい。
3. 当商品を装着後、運転中に異常が発生した場合は、直ちに車両を止めて整備工場にて点検を受けて下さい。そのまま走行を続けますと、車両の破損や事故につながる恐れがあります。
4. ブーストセンサー本体及び各センサーハーネス接続部は水分に弱い為、浸水しないようにお取扱い下さい。
5. 当商品は取付状態も含め、いつも正常な状態を保つよう必要に応じて車両の点検を行って下さい。
6. 劣化、破損などにより、本来の状態を維持していない場合は、速やかに交換を行って下さい。

## ■部品適応表 当商品の装着は、次の適応表に合ったもので行って下さい。

| 車種名 | 型式 | エンジン | 部品番号 |
|---|---|---|---|
| ランサーエボリューション Ⅸ MR、Ⅸ、Ⅷ MR、Ⅷ、Ⅶ、Ⅶ GT-A | CT9A | 4G63 ターボ | RA517925S1 |
| ランサーエボリューション Ⅵ、Ⅴ | CP9A | | |
| ランサーエボリューション Ⅳ | CN9A | | |
| ランサーエボリューション Ⅲ、Ⅱ | CE9A | | |
| ランサーエボリューション | CD9A | | |
| ランサーエボリューション ワゴン MR、ワゴン | CT9W | | |
| エアトレック TURBO-R | CU2W | | |
| RVR スポーツギア | N73WG | | |
| コルト ラリーアート Version-R | Z27AG | 4G15 ターボ | |
| コルト ラリーアート | Z27A | | |
| コルトプラス ラリーアート | Z27WG/Z27W | | |

## 取付完成図




## 使用工具類 （次の工具を用意して下さい。）

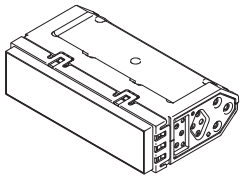
① ドライバー（プラス） ② スタッビドライバー（プラス）
③ オーナメントリムーバー（三菱自動車品番：MB990784）
④ ソケットレンチ（10mm／12mm／14mm／17mm／19mm）
⑤ スパナレンチ（10mm／12mm／14mm／17mm／19mm）
⑥ メガネレンチ（10mm／12mm／14mm／17mm／19mm）
⑦ トルクレンチ ⑧ プライヤー ⑨ ニッパー ⑩ カッター
⑪ シール剤（推奨：スリーボンド1141E、1215又は1212D相当品） ⑫ ビニールテープ

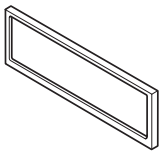
R023-0159-0702



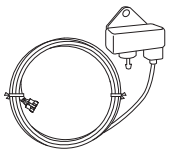
株式会社ラリーアート

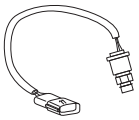
## 構成部品（取り付け前に部品が揃っているか確認して下さい。）

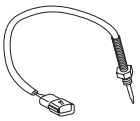

スポーツ1DINトリプル
メーターキット本体（1ヶ）

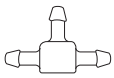

カバー（1ヶ）

取扱説明書
（本書）（1部）


ブーストセンサー（1ヶ）


圧力センサー（1ヶ）

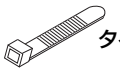

温度センサー（1ヶ）

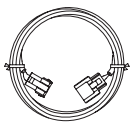

スリーウェイ
ジョイント（1ヶ）

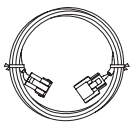
ブーストホース（1ヶ）

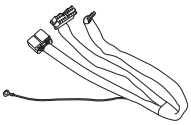
オイルパンドレン取付用
温度センサージョイント（1ヶ）

PT3/8圧力／温度
センサージョイント（2ヶ）


タイラップ（20本）


圧力（PRESS）
センサーハーネス（1ヶ）


温度（TEMP）
センサーハーネス（1ヶ）


電源中継
ハーネス（1ヶ）

両面テープ（3本）

M5×ℓ8サラビス（4ヶ）

## 別売対応部品（コルト、コルトプラスに取り付ける際に必要な部品です。別途手配下さい。）

ガスケット，ターボチャージャ　オイルフィードチューブ（1ヶ）　（三菱純正品番：1226A003）

アイボルト，ターボチャージャ　10×20（1ヶ）　（三菱純正品番：MD196129）

## 取付上の注意

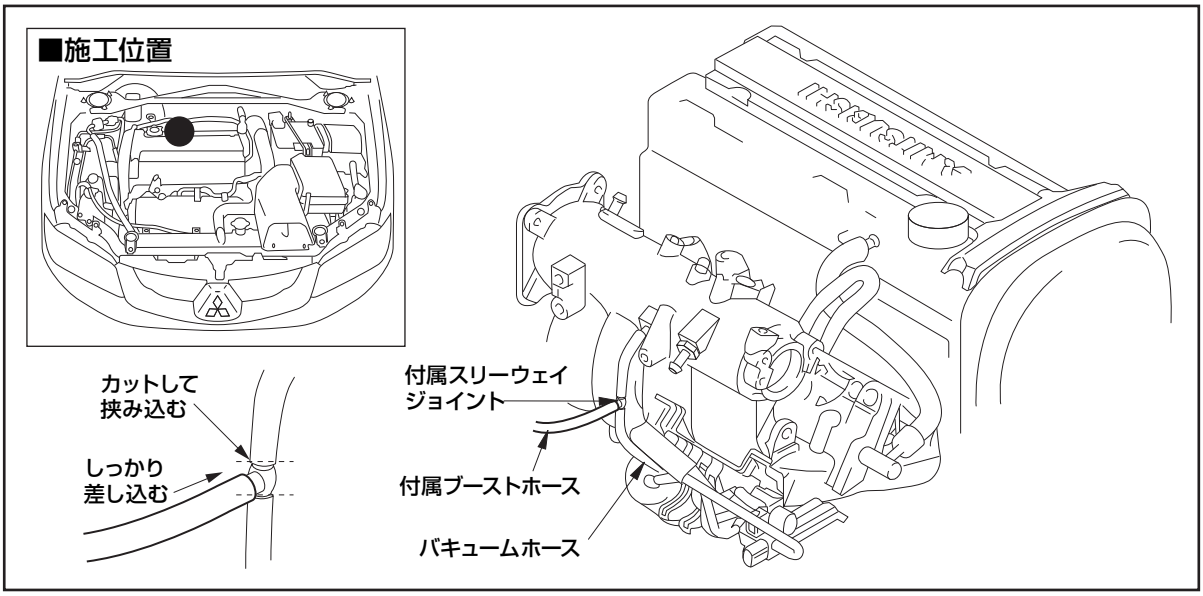
### ⚠注意

1. 当商品の取り付けは、全国の三菱自動車販売会社をはじめとする陸運局指定工場、及び認証工場での取り付けを推奨致します。
2. 当商品が正しく装着されていませんと、エンジン破損の原因となります。
3. 本製品取り付けの際は必ずエンジンが停止している状態を確認し、更にエンジン等が加熱状態に無い事を確認し、必ずバッテリーのマイナス端子を外した上で作業を開始して下さい。
4. 各センサーハーネスを折り曲げたり、無理な力を加えると断線等の原因となります。
5. 各部の取り付けは説明書に従い、取り付け図を良く確認の上、正しく取り付けて下さい。
6. エンジン及び補機類の加熱する箇所や、ファンベルト・プーリー・ドライブシャフト等の回転部付近はセンサーやケーブルが接触しない様、付属のタイラップを使用して、しっかりと固定して下さい。
7. 作業後はエンジンオイル量が適正か確認して下さい。
8. 各部の点検終了後、運行前点検を行い、確認走行を行って不具合の無い事を確認して下さい。
   当商品を装着後、運転中に異常が発生した場合は、直ちに車両を止めて整備工場にて点検を受けて下さい。
   そのまま走行を続けますと、車両の破損や事故につながる恐れがあります。
9. 当商品は取付状態も含め、いつも正常な状態を保つ様、必要に応じて車両の点検を行って下さい。
10. 劣化、破損などにより、本来の状態を維持できない場合は、速やかに交換を行って下さい。
11. 本製品のクレームにつきましては原則として応じかねますので御了承下さい。

# 取付順序 ※本書はランサーエボリューションⅧ(CT9A)をベースに記載しております。

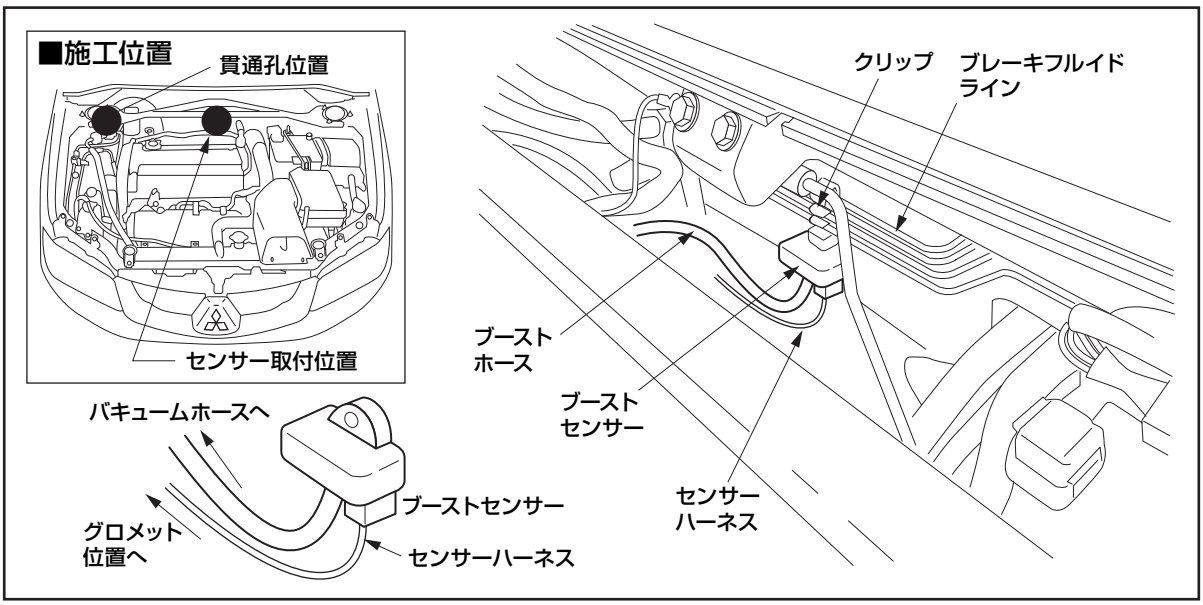
## 【各センサーの取り付け】

### 1. ブーストホースの取り付け




（1）車両バキュームホースを任意の位置でカットします。
（2）付属スリーウェイジョイントをホースに挟み込みます。
（3）付属ブーストホースをスリーウェイジョイントの空き孔にしっかり差し込みます。

### 2. ブーストセンサーの取り付け




（1）ダッシュパネル(トーボード)中央部のブレーキフルイドラインを保持しているクリップをスタッドより外し、ブーストセンサーをスタッドに付けた後クリップを元通りに取り付けてください。

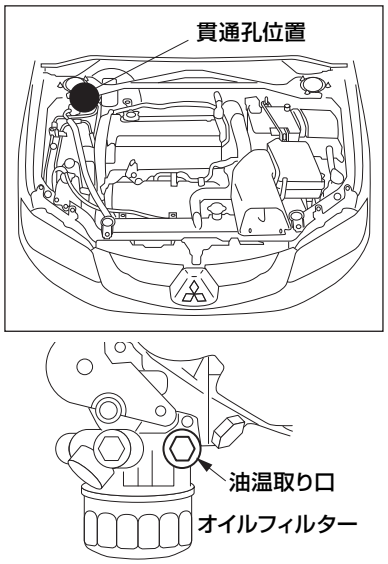
**⚠注意**

取り付けの際は、ブレーキフルイドラインのパイプを曲げたり、傷つけない様ご注意ください。

（2）センサーハーネスを車両パイプ・ハーネスに沿わせ貫通孔位置まで取り回します。

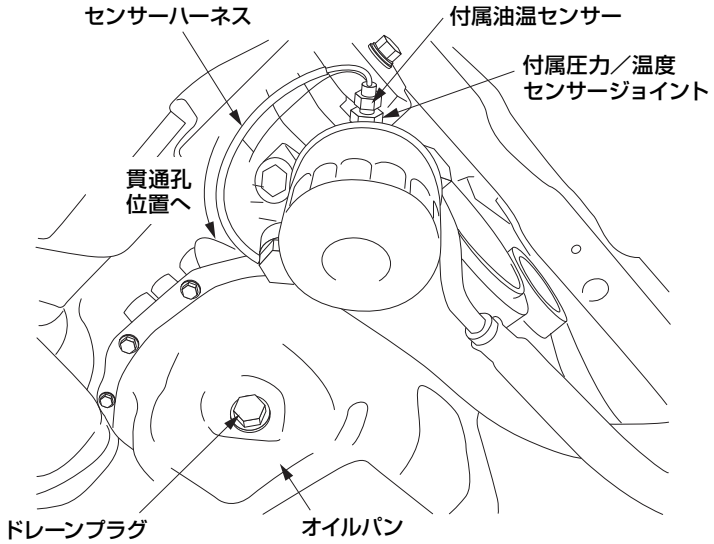
# 取付順序

3. 油温センサーの取り付け










（1）油温取り口の純正ボルトを外し、付属の圧力／温度センサージョイントをねじ部にシール剤を塗布した上で取り付けます。(トルク19±3N・m)その際、エンジンオイルが抜け出ますので、被らない様ご注意下さい。

※エアトレック、RVR、コルト、コルトプラスは純正のオイルパンドレーンプラグを外し、付属のオイルパンドレーン取付用温度センサージョイントに新品の「ガスケット, エンジンオイルパンドレーンプラグ：MD050317」を取り付けて、オイルパンドレーン部に取り付けます。(トルク30±5N・m)その際、エンジンオイルが勢いよく抜け出ますので、被らない様ご注意下さい。

（2）付属油温センサーねじ部にシール剤を塗布した上で、圧力／温度センサージョイントに取り付けます。(トルク11.8～17.6N・m)

※エアトレック、RVR、コルト、コルトプラスは付属油温センサーねじ部にシール剤を塗布した上で、オイルパンドレーン取付用温度センサージョイントに取り付けます。(トルク11.8～17.6N・m)

## ⚠注意

1. ねじ部先端にシール剤がはみ出さない様にして下さい。
2. 締め過ぎに注意して下さい。
3. センサーから出ている配線に無理な力が加わらない様にお取り付け下さい。

## アドバイス

推奨シール剤：スリーボンド 1141E、1215 又は 1212D 相当品

(3) センサー取り付け後、油温センサーと油温センサーハーネス (カプラ側) を接続して下さい。

## アドバイス

防水性を確保する為、接続したカプラは、ビニールテープで完全に覆って下さい。

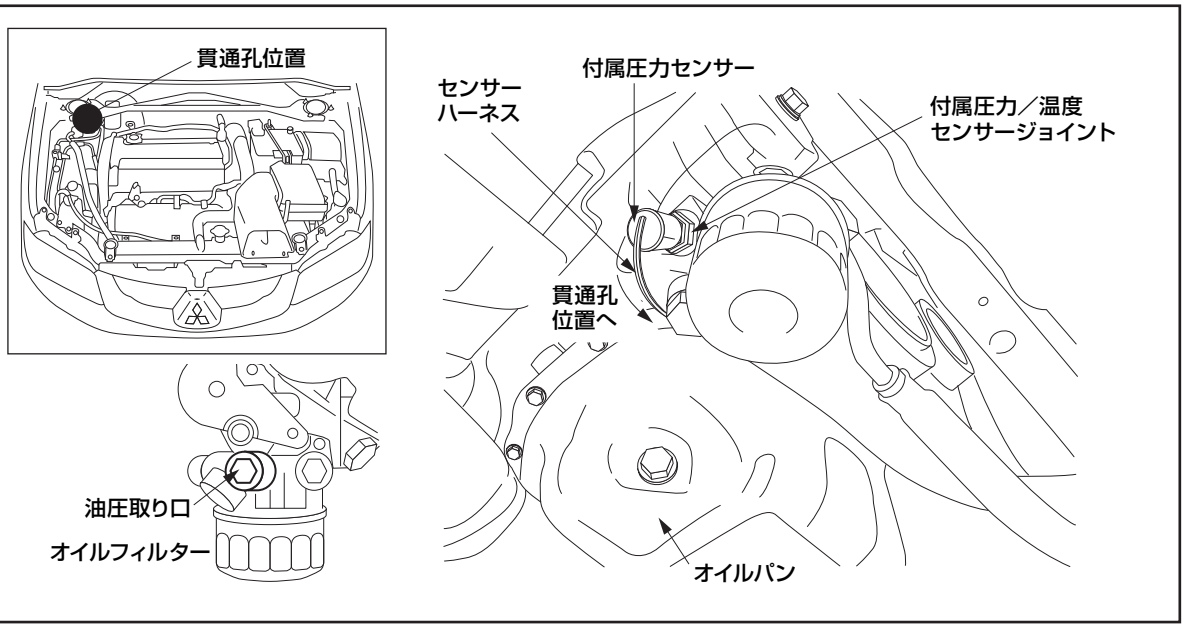
（4）センサーハーネスをドライブシャフトやクランクプーリー等の回転部に干渉しない様に付属のタイラップで固定しながら、室内引き込みの貫通孔まで取り回します。

## ⚠注意

ドライブシャフトやクランクプーリー等の回転部と干渉しますと大変危険ですので、取り付け後は干渉の無いことを必ず確認して下さい。

# 取付順序

4. 油圧センサーの取り付け




（1）油圧取り口の純正ボルトを外し、付属の圧力／温度センサージョイントをねじ部にシール剤を塗布した上で取り付けます。（トルク19±3N・m）その際、エンジンオイルが抜け出ますので、被らない様御注意下さい。
※コルト、コルトプラスは、「添付資料」を参照して取り付けて下さい。
※エアトレック、RVRは付属の圧力／温度センサージョイントは不要です。

（2）付属油圧センサーねじ部にシール剤を塗布した上で、圧力／温度センサージョイントに取り付けます。（トルク11.8～17.6N・m）
※エアトレック、RVRは付属圧力センサーねじ部にシール剤を塗布した上で、直接油圧取り口に取り付けます。

## ⚠注意

1. ねじ部先端にシール剤がはみ出さない様にして下さい。
2. 締め過ぎに注意して下さい。
3. センサーから出ている配線に無理な力が加わらない様にお取り付け下さい。

## アドバイス

推奨シール剤：スリーボンド 1141E、1215 又は 1212D 相当品

（3）センサー取り付け後、圧力センサーと圧力センサーハーネス（カプラ側）を接続して下さい。

## アドバイス

防水性を確保する為、接続したカプラは、ビニールテープで完全に覆って下さい。

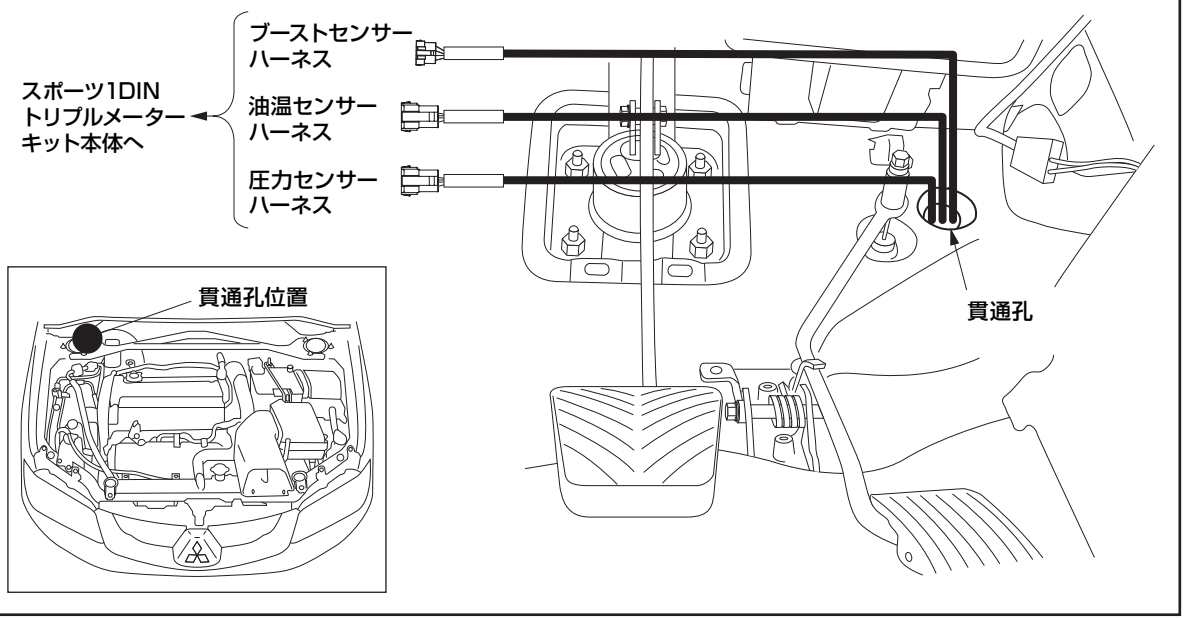
（4）センサーハーネスをドライブシャフトやクランクプーリー等の回転部に干渉しない様に付属のタイラップで固定しながら、室内引き込みの貫通孔まで取り回します。

## ⚠注意

ドライブシャフトやクランクプーリー等の回転部と干渉しますと大変危険ですので、
取り付け後は干渉の無いことを必ず確認して下さい。

# 取付順序

5. 各種センサーハーネスの引き込み




（1）ダッシュパネル（トーボード）の貫通孔（アクセルワイヤ貫通孔の右側にあります）より
各種センサーハーネスを引き込みます。

（2）インストルメントパネル位置までハーネスを引き回します。

## ⚠注意

1. ハーネスはペダル機構やステアリング機構と絶対に干渉しない様、引き回して下さい。
2. 各センサーハーネス配線後、ブチルテープ等で必ず貫通孔に防水処理を行って下さい。

## アドバイス

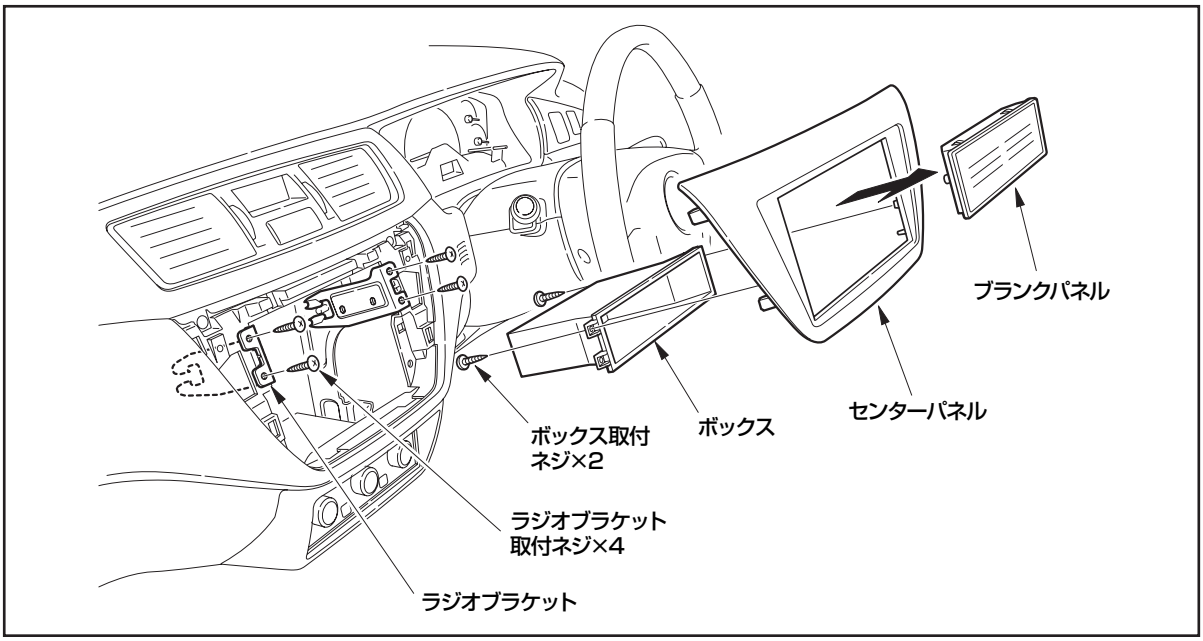
図に示した貫通孔位置は、ランサーエボリューション（CT9A）をベースに記載しています。
ランサーエボリューション（CT9A）以外の車種でセンサーハーネスの引き込みを行う場合は、スポーツ 1DIN トリプルメーターキット本体まで各ハーネスが届く適当な貫通孔を利用し、ハーネスの引き込みを行ってください。
（運転席側の貫通孔では、ハーネスがスポーツ 1DIN トリプルメーターキット本体まで届かない場合があります。）

# 取付順序

【スポーツ 1DIN トリプルメーターの取り付け】

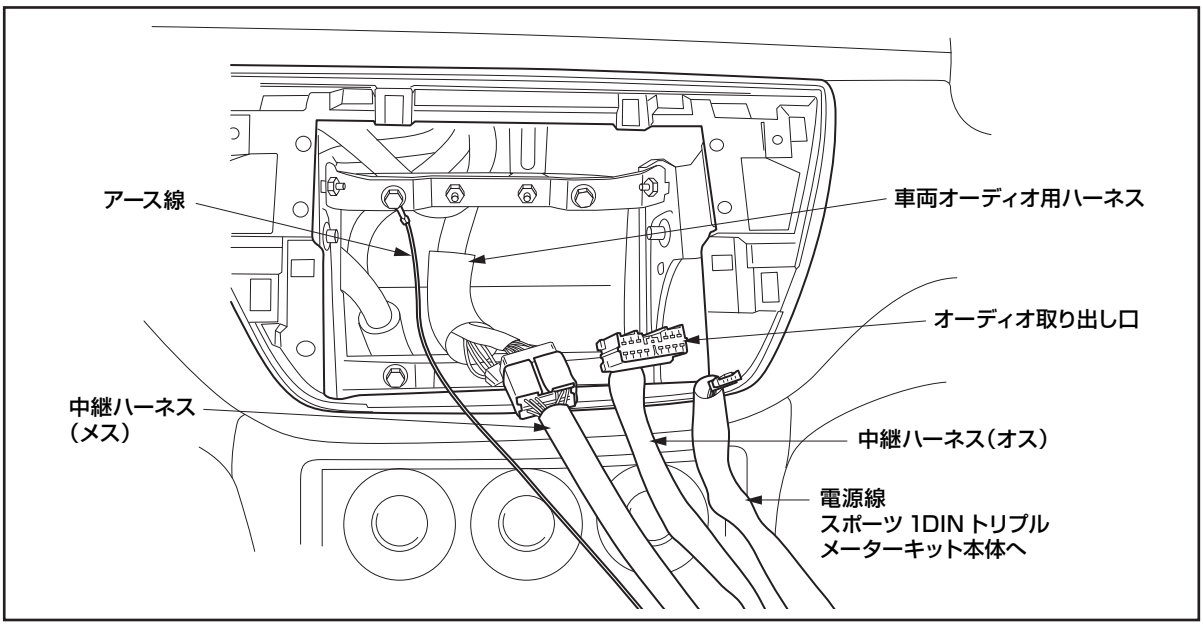
※当メーター本体はカーオーディオ用の 1DIN スペースに装着する様設計されており、下図はランサーエボリューションⅧ、Ⅶ(CT9A)をベースに記載しております。他車種については、整備解説書またはカーオーディオ取付説明書を参照し、カーオーディオ用 1DIN スペースに取り付けてください。

1. 車両部品の取り外し




（1） センターパネルを取り外します。
（2） センターパネルからブランクパネルとボックスを取り外します。
（3） インストルメントパネルからラジオブラケット(L)、(R)を取り外します。

2. 中継ハーネスの結線




（1） 車両オーディオ用ハーネスに中継ハーネス（メス）を差し込みます。
（2） アース線を任意の車両金属部分に固定します。
（3） 中継ハーネスのたるんだ部分をインストルメントパネル内にて処理してください。

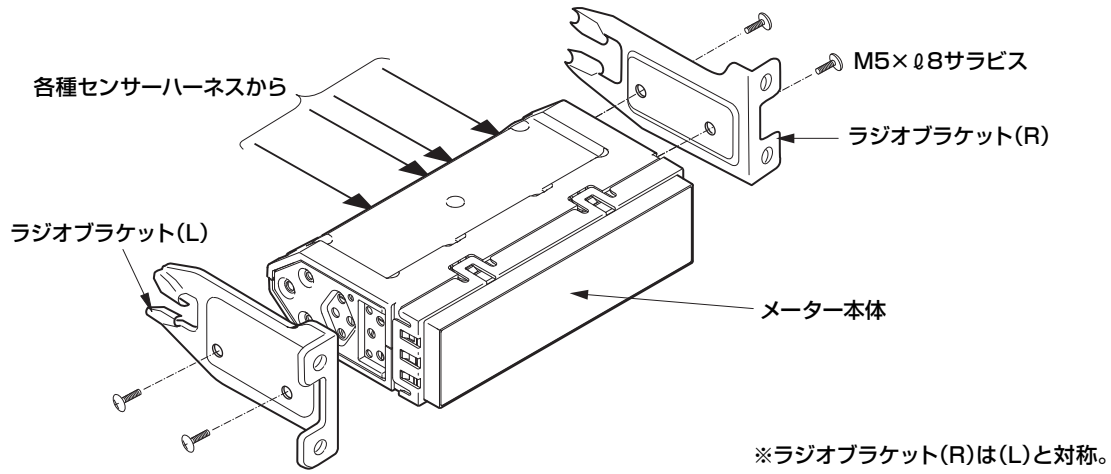
R023-0159-0702



株式会社ラリーアート

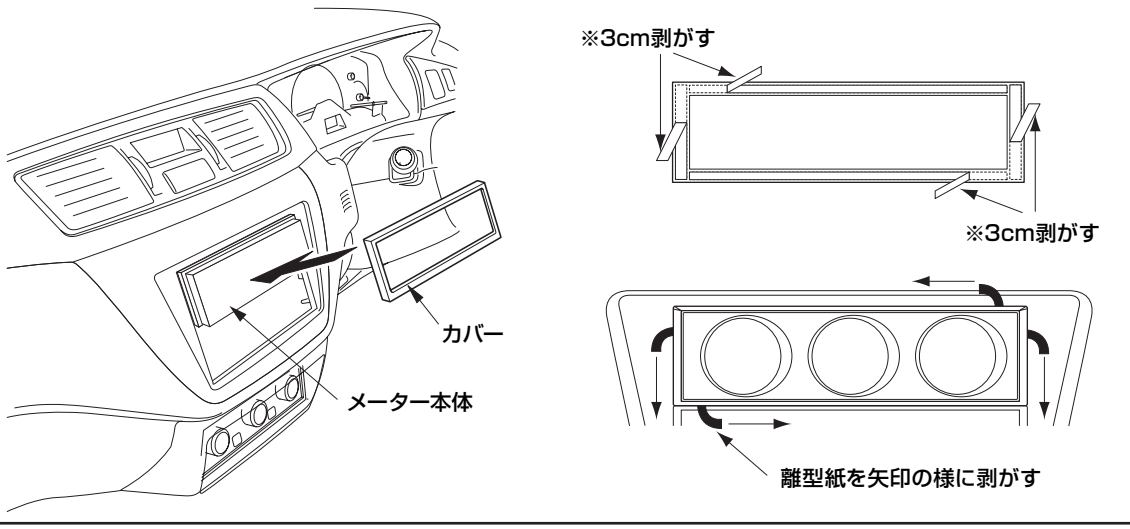
# 取付順序

3. メーター本体の取り付け方




（1）メーター本体に付属M5×ℓ8サラビスでラジオブラケット(R)(L)を取り付けます。
（2）別紙の配線図を参照して各種センサーハーネス及び電源ハーネスを接続します。
（3）本製品本体をインストルメントパネルへ取り付けます。

4. カバーの取り付け方




（1）付属のカバー裏面の汚れや油分を拭き取り、任意に付属両面テープを貼り付けます。
（2）付属のカバーを貼り付け面に合わせ、位置の確認をします。
（3）位置確認後、貼り付け面の汚れや油分をきれいに拭き取ります。
（4）付属のカバー裏面の、両面テープ離型紙の片側を3cm程剥がし、外側に折り返しておきます。
（5）取り付け前に確認した位置にカバーを合わせ、貼り付け位置が決まったら、予め剥がしておいた離型紙を引き抜く様に全て剥がして下さい。

**アドバイス**

表面にキズがつかない様、ウエスを使って、しっかりとテープ面を圧着して下さい。

## 取付確認（お客様・取り付け業者様へ）

### ⚠注意

1. 作業終了後は、必ず運転席やエンジンルームに何も残ってないことを確認してください。
運転席の足下に使用した工具類などがあると、ブレーキペダルの下に挟まり、ブレーキ操作が出来なくなるなどの恐れがあり大変危険です。エンジンルームに使用した工具があるとエンジン破損の恐れがあり大変危険です。
2. 最終仕上げとして、以下の項目を必ず実施してください。場合により、重大な事故につながる恐れがあります。

（1） 取り付けた配管が確実に接続され、差し忘れや誤配管及び液漏れ・排気漏れがないか確認してください。

（2） センサー本体やハーネスなどが、エンジンルーム内で加熱する箇所や回転部（ファンベルト、プーリー、ドライブシャフト他）・作動装置（ラジエータファン、スロットル他）・点火系装置（イグニッションコイル、プラグコード他）等と干渉せず取り付けられているか確認して下さい。

（3） 必ずエンジンオイル量を確認し、不足している場合は新品のエンジンオイルを適正量まで入れて下さい。

（4） メーター本体やハーネスなどが、運転の妨げにならないように、確実に固定されているか、もう一度確認してください。

（5） メーター本体やハーネスなどが、取り外した車両側の内装、ハーネス類が元通りに戻されているか、もう一度確認してください。

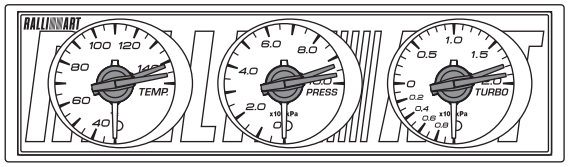
（6） バッテリーのマイナス端子を外れないようにしっかりと取り付け、ボンネットを確実に閉めてください。

### アドバイス

本製品はガラス保護のため、保護フィルムが貼ってあります。
製品取付終了後に、お客様立ち会いのもと、フィルムをお剥がしください。

## チェック機能（お客様へ）

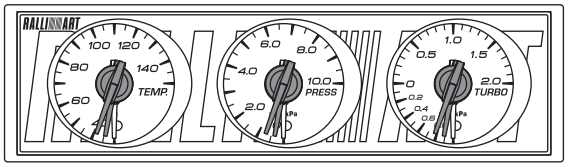
「断線（オープン）チェック機能」




この機能は、センサー及びセンサーハーネスの断線、配線抜け、誤配線があった場合に知らせるものです。断線（オープン）のあるセンサー及びセンサーハーネスのメーター指針が 250～260° の間で揺れます。

※上図は指針の角度を示したものであり、3 つのメーター指針が同時に揺れるわけではありません。
※電源ハーネスの断線（オープン）チェック機能はございません。

「短絡（ショート）チェック機能」




この機能は、センサー及びセンサーハーネスのどこかで短絡（ショート）があった場合に知らせるものです。短絡（ショート）のあるセンサー及びセンサーハーネスのメーター指針が 10～20° の間で揺れます。

※上図は指針の角度を示したものであり、3 つのメーター指針が同時に揺れるわけではありません。
※電源ハーネスの断線（オープン）チェック機能はございません。

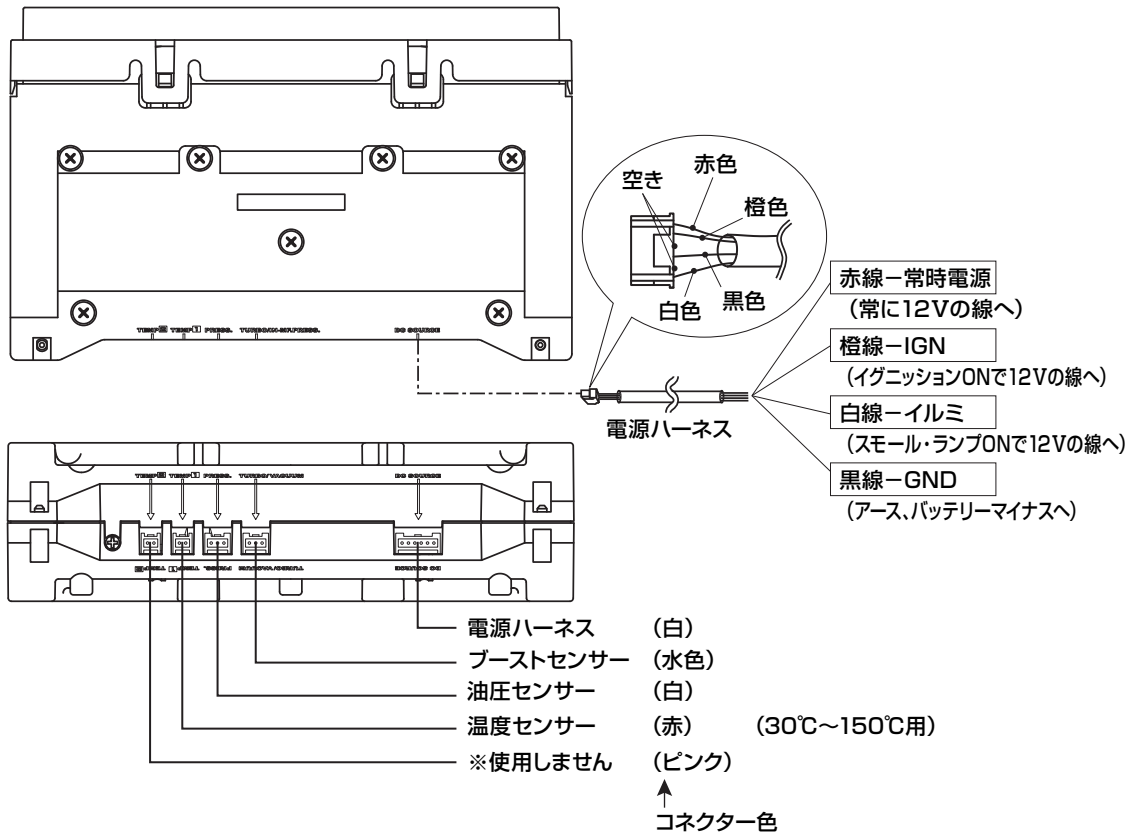
# トラブルシューティング（お客様・取り付け業者様へ）

●異常を感じたら、必ず点検をして異常がないことを確認してください。
さもないと、重大な事故が発生する恐れがあります。

| 症　状 | 考えられる原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| ○通常動作時のメーターは正常に動くのですが、キーをOFFした時にメーターの指針が真下に戻らずに止まります。 | ○電源ハーネスの（プラス）B（バッテリー：赤色、常時電源）の接続不良です。 | ○取扱説明書（本書）に基づいて、配線の確認をお願い致します。正常であれば、キーOFF時に、全てのメーターの指針は真下を向きます。 |
| ○イグニッションキーONにすると指針がおかしな動きをします。 | ○エンジンスタートに連動して照明LEDが点灯し機能のチェックをしているためです。 | ○商品には異常はございません。但し、指針が一定間隔で細かく振れている場合は「断線」「ショート」が考えられます。使用方法の項目に異常の見分け方の説明がありますので、確認の上、販売店にご相談ください。 |
| ○メーターの指針が走行中おかしな動きをしたり、振り切ったり、止まってしまいます。 | ○電源配線の接触不良の可能性があります。 | ○取扱説明書（本書）に基づいて配線の確認をお願い致します。 |
| ○取り付けましたが、動作しません。何が考えられますか？ | ○電源配線の誤配線の可能性があります。 | ○取扱説明書（本書）に基づいて配線の確認をお願い致します。 |
| ○取り付けたら車の調子がおかしくなりました。何が考えられますか？ | ○センサー関係の取り付けによる可能性があります。 | ○取り付けを依頼した業者様にセンサー関係の取り付けをもう一度確認してもらって下さい。 |
| ○照明が点灯しません。 | ○イルミ配線の接触不良または誤配線の可能性があります。 | ○取扱説明書（本書）に基づいて配線の確認をお願い致します。 |
| ○ブースト計と油圧計の表示がおかしいのですが、何が考えられますか？ | ○メーター本体のセンサーハーネスを接続する場所の、PRESSとTURBO／VACUUMが逆になっている為です。 | ○取扱説明書（本書）に基づいて配線の確認をお願い致します。 |
| ○4G63型ターボエンジン搭載車で、エンジン回転数がほぼ一定にも関わらず、油圧計の表示が若干ぶれます。 | ○油圧センサー取り付け位置をオイルポンプ付近の設定としている為です。 | ○正確な表示を示している現象であり、商品には異常はありません。 |

# 配線図／製品仕様（取り付け前に確認して下さい。）

## ■配線図全体



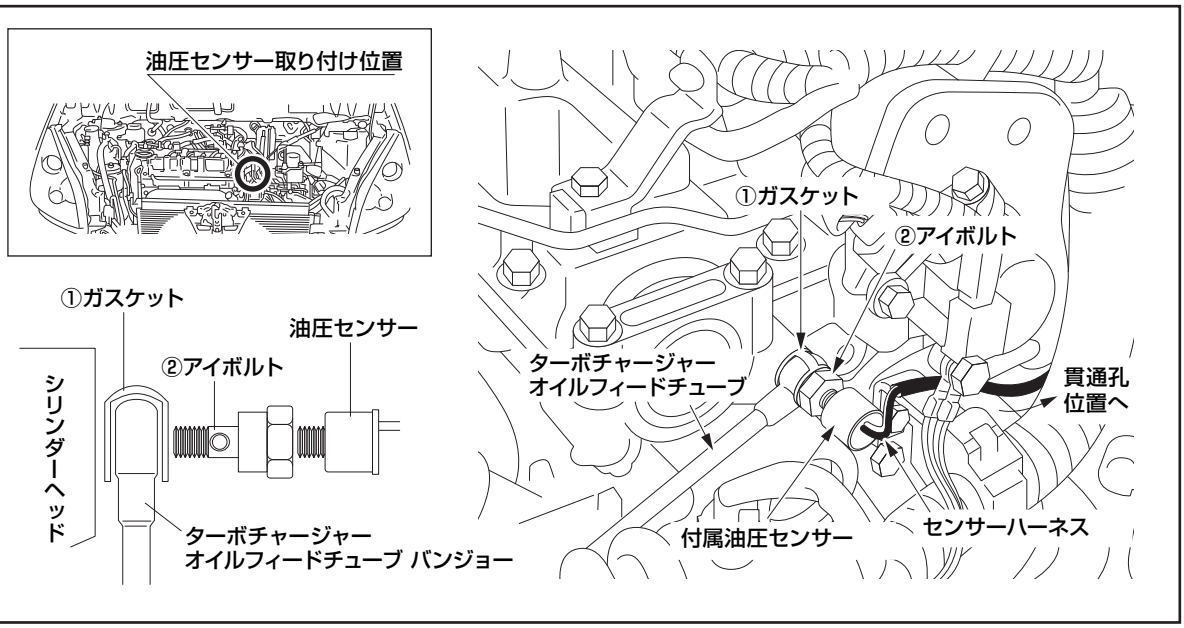

## ■製品仕様

| 項　目 | 仕　　様 |
|---|---|
| ○電源電圧 | DC10 ～15V（12V車専用） |
| ○消費電流 | IGN ON　MAX 0.5A<br>ILM ON　MAX 0.1A |
| ○動作温度範囲 | －20 ～ +60℃（湿度80%以下） |
| ○保存温度範囲 | －40 ～ +80℃（湿度80%以下） |
| ○表示範囲 | TURBO（ブースト計）　－100 ～200kPa<br>PRESS（油圧計）　0 ～1,000kPa<br>TEMP（油温計）　30 ～150℃ |
| ○センサーネジピッチ | TURBO（ブースト計）　スリーウェイジョイント<br>PRESS（油圧計）　1/8PT<br>TEMP（油温計）　1/8PT |
| ○外形（mm） | 178mm（幅）×50mm（高さ）×112mm（奥行き） |
| ○総重量 | 1,115g（メーター本体、ハーネス、付属品、パッケージ含む） |

# 添付資料

## コルト、コルトプラスへの油圧センサーの取り付け

※ コルト、コルトプラスへの取り付けには、下記部品が必要となりますので、別途手配下さい。
ガスケット, ターボチャージャ　オイルフィードチューブ（1ヶ）　（三菱純正品番：1226A003）
アイボルト, ターボチャージャ　10×20（1ヶ）　（三菱純正品番：MD196129）




（1）ターボチャージャーオイルフィードチューブのシリンダーヘッド側バンジョーに取り付けられているアイボルトを取り外して下さい。その際、エンジンオイルが漏れ出すので、ご注意下さい。
（2）取り外したバンジョーに新品の①「ガスケット, ターボチャージャ オイルフィードチューブ」を取り付け、②「アイボルト, ターボチャージャ 10×20」を締め付けて下さい。

### アドバイス

●取り付け時の締め付けトルク　規定トルク　②アイボルト：17±2N・m（1.7kgfm）

（3）油圧センサーねじ部にシール剤を塗布し、②アイボルトに油圧センサーを取り付けて下さい。

### ⚠注意

1. ねじ部先端にシール剤がはみ出さない様にして下さい。
2. 締め過ぎに注意して下さい。
3. センサーから出ている配線に無理な力が加わらない様にお取り付け下さい。

### アドバイス

推奨シール剤：スリーボンド1141E、1215又は1212D相当品

（4）センサー取り付け後、圧力センサーと圧力センサーハーネス（カプラ側）を接続して下さい。

### アドバイス

防水性を確保する為、接続したカプラは、ビニールテープで完全に覆って下さい。

（5）センサーハーネスをトランスミッション可動部や回転部、高温部などに干渉しない様に付属のタイラップで固定しながら、室内引き込みの貫通孔まで取り回します。

R023-0159-0702

**株式会社ラリーアート**